

科目名	池末ゼミ1	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	表現者にとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、より高度なソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	表現者にとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、より高度なソロアプローチ方やインプロテクニクを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しより高度なパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しより高度なパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識したより高度な歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識したより高度な歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	試験と復習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
15		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス&アクターズ専門学校

科目名	池末ゼミ2	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	表現者にとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、より高度なソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	表現者にとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、より高度なソロアプローチ方やインプロテクニクを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しより高度なパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。	
2		演習	歌唱時のフォームを意識しより高度なパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
7		演習	より高度な共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
8		演習	より高度な共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
9		演習	より高度な共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
10		演習	より高度な共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。	
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
15		演習	試験総括(改善点を知る)	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック		
【使用教科書・教材・参考書】					
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜					
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス&アクターズ専門学校					

科目名	RECORDING CHORUS WORK1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1.レコーディングで使用されるロック、ポップス曲にも対応できるハーモニー感覚の基礎を習得する。 2.コードを使い音感と耳を鍛えるレコーディング実践に使える講義を実施する。						
到達目標	1.ハーモニーの基本とされる3度のハーモニーを習得する。 2.5.6.7度等の難易度が高いハーモニーを習得する。 3.ユニゾン、オクターブユニゾンのハーモニーを習得する。 4.人が歌っている曲に自動的にハーモニーを載せる事ができるようにする。						
評価方法と基準	1.3度ハーモニー実技試験(25%) 2.5.6.7度ハーモニー実技試験(25%) 3.ユニゾン、オクターブユニゾンハーモニー実技試験(25%) 4.人が歌っている曲に自動的にハーモニーを載せる実技試験(25%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	基本である姿勢.呼吸、体幹を学び実践できる。	基本である姿勢.呼吸、体幹を学び実践し動画でチェックする。
2		演習	様々なコードを使い音感を鍛えて実践できる。	様々なコードを使い音感を鍛えて実践し動画でチェックする。
3		演習	コードを使ったハーモナイズを実践できる	コードを使ったハーモナイズを実践し動画でチェックする。
4		演習	基本の3度ハーモニーを理解し実践できる	基本の3度ハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
5		演習	4.5.6.7度のハーモニーを理解し実践できる	4.5.6.7度のハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
6		演習	楽曲を使いハーモニーを理解し実践できる	楽曲を使いハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
7		演習	楽曲を更に深めを理解し実践できる	楽曲を更に深めを理解し実践し動画でチェックする。
8		演習	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践できる	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
9		演習	ロックのリズムでハーモニーを理解し実践できる	ロックのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
10		演習	ポップスのリズムでハーモニーを理解し実践できる	ポップスのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
11		演習	R&Bのリズムでハーモニーを理解し実践できる	R&Bのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
12		演習	JAZZのリズムでハーモニーを理解し実践できる	JAZZのリズムでハーモニーを実践し動画でチェックする。
13		演習	JAZZのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践できる	JAZZのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践し動画でチェックする。
14		演習	R&Bのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践できる	R&Bのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践し動画でチェックする。
15		演習	実技試験と復習	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
準備学習 時間外学習			コーラスワークに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス&アクターズ専門学校

科目名	RECORDING CHORUS WORK 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1.前年に学んだ内容を更に深めレコーディングの仕事の現場で使える力を養う 2.ア・カペラ含む更に高度な技術を身に付ける 3.レコーディングで使用される譜面を使い初見カトレーニング						
到達目標	1.ハーモニーの基本とされる3度のハーモニーを習得する。 2.5.6.7度等の難易度が高いハーモニーを習得する。 3.ユニゾン、オクターブユニゾンのハーモニーを習得する。 4.人が歌っている曲に自動的にハーモニーを載せる事ができるようにする。						
評価方法と基準	1.3度ハーモニー実技試験(25%) 2.5.6.7度ハーモニー実技試験(25%) 3.ユニゾン、オクターブユニゾンハーモニー実技試験(25%) 4.人が歌っている曲に自動的にハーモニーを載せる実技試験(25%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	課題曲実践を学び実践できる。	課題曲実践を学び実践し動画でチェックする。
2		演習	前週の復習で修正や内容の掘り下げを学び実践できる。	前週の復習で修正や内容の掘り下げを学び実践し動画でチェックする。
3		演習	1人1人課題曲を決めハーモニー付けを学び実践できる。	1人1人課題曲を決めハーモニー付けを学び実践し動画でチェックする。
4		演習	前週の引き続きを学び実践できる。	前週の引き続きを学び実践し動画でチェックする。
5		演習	ア・カペラで音感を学び実践できる。	ア・カペラで音感を学び実践し動画でチェックする。
6		演習	様々な楽曲をア・カペラを学び実践できる。	様々な楽曲をア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
7		演習	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践し動画でチェックする。
8		演習	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践できる。	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
9		演習	前週のア・カペラを学び実践できる。	前週のア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
10		演習	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践できる。	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
11		演習	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。
12		演習	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践できる。	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
13		演習	前週のア・カペラを学び実践できる。	前週のア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
14		演習	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践できる。	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
15		演習	実技試験と復習	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
準備学習 時間外学習			コーラスワークに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス&アクターズ専門学校